

## 200625 千葉県東方沖 M6.2、その他について

いままで長期に続いた、五反田、甲府、安曇野、伊勢などのデータが同じタイミングで収束傾向になってきましたが 他方で4月22日以降の長野—岐阜の群発地震が長引き、また5月20日から東京湾でも小規模の群発地震が発生しました。

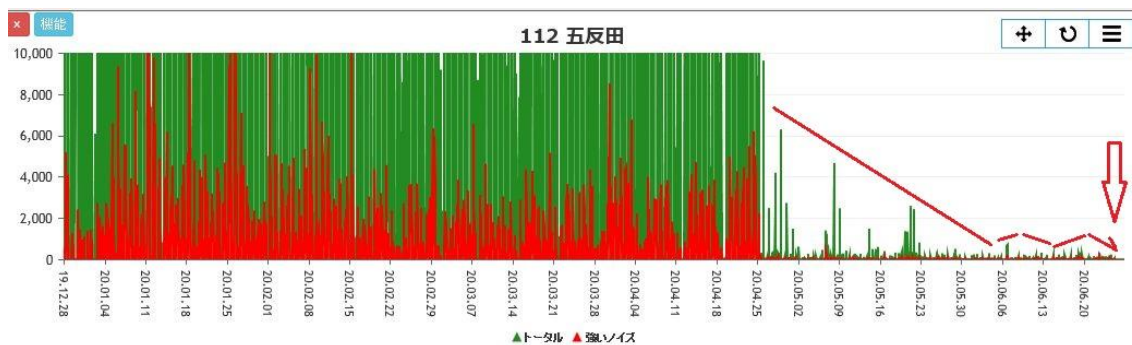
6月に入ってから、関東中部の観測点の複数のデータがさらに収束傾向を強めたことで関東地方および中部東海地方にM6を超える規模の地震を想定してきました。

本日(6月25日)早朝(AM4時47分)に発生した、千葉県東方沖M6.2の地震はそうした経過の中で発生していますが 五反田の長期のデータから見て 規模が小さいようにも思え、これが前震であった、という可能性は残ります。

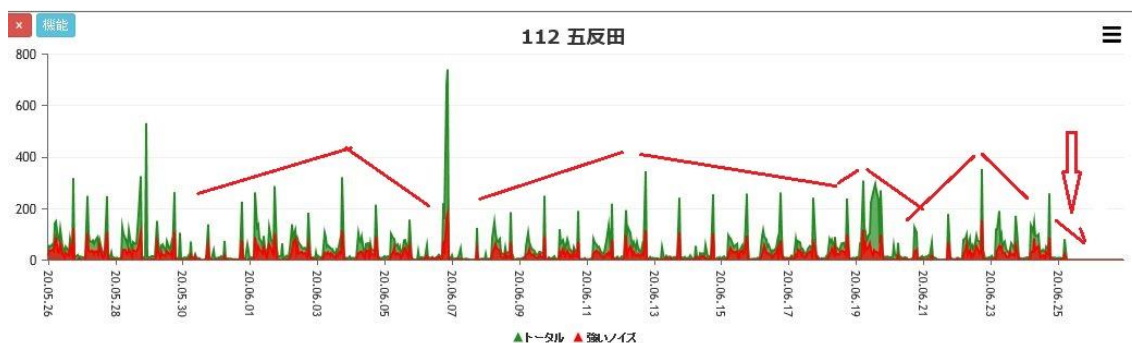
過去には 2011年3月11日の東日本大震災も2日前の3月9日に近くの震源でM7.2が発生しており、2016年4月16日の熊本地震も同じく2日前にM6.3の地震があり、いずれもいわゆる前震と考えられる事例があることから 今回も念のためここ2~3日は警戒が必要と考えます。

以下に関連のグラフを載せます>

五反田 180日データ



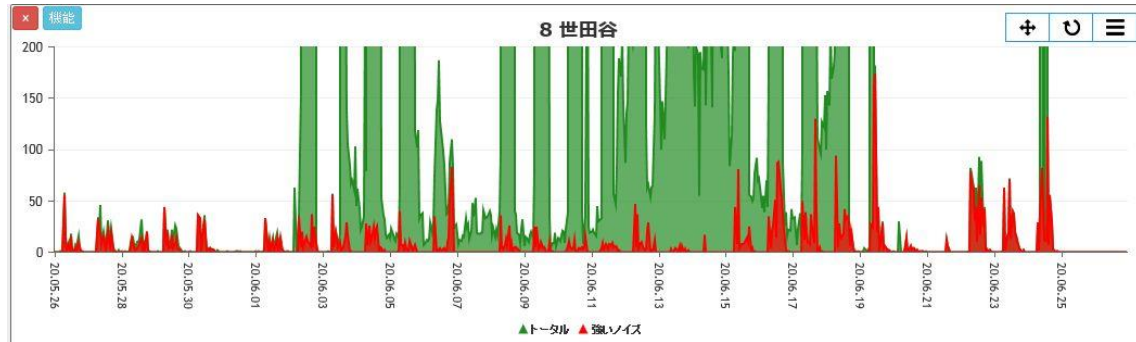
五反田 30日データ



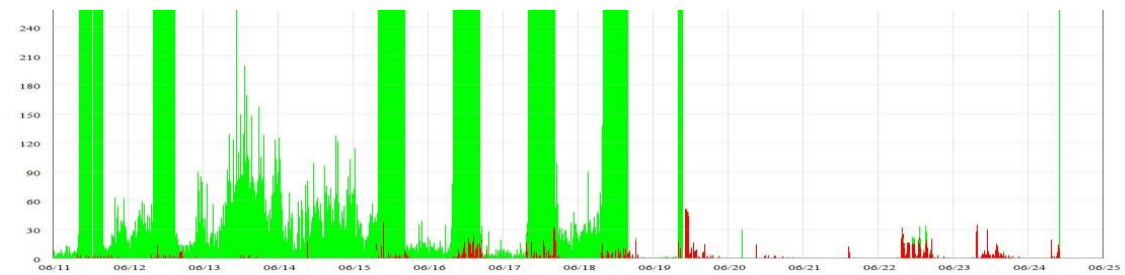
世田谷 30日データ



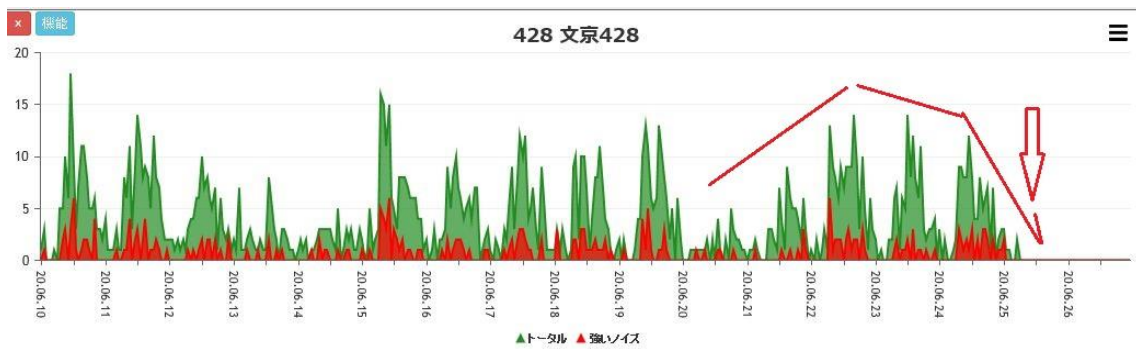
世田谷 30 日データ (拡大)



世田谷 10 分間データ



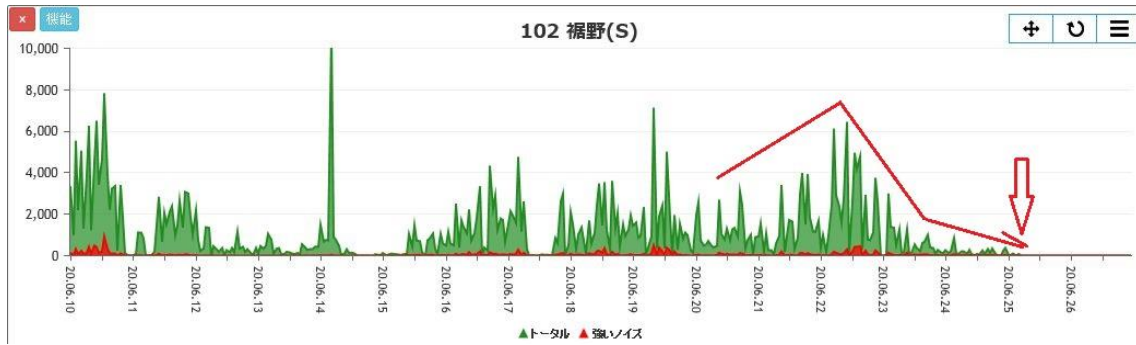
文京 15 日データ



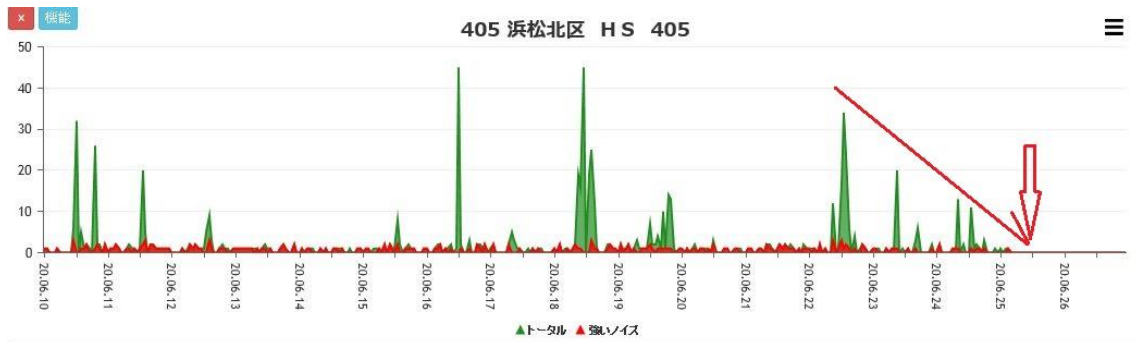
甲府 15 日データ



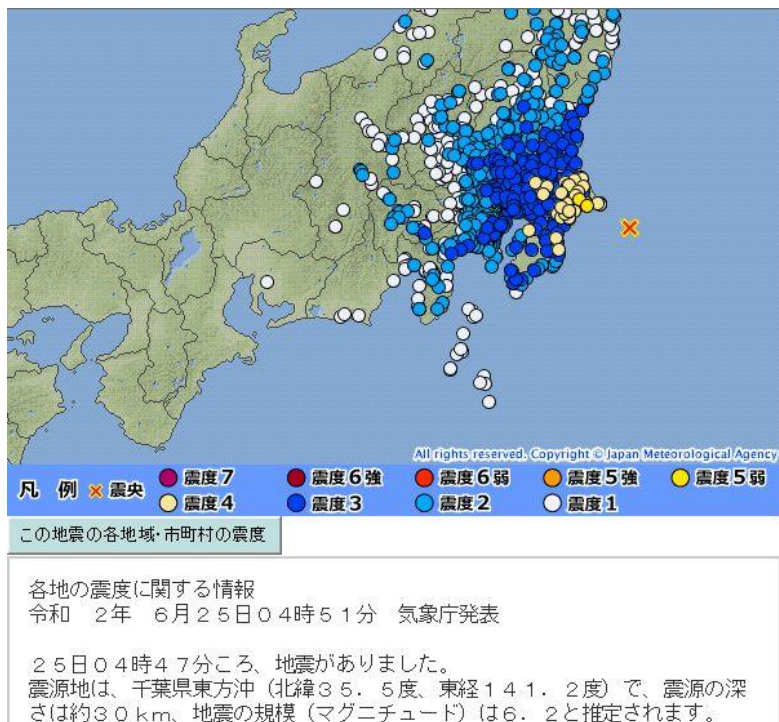
裾野 15日データ



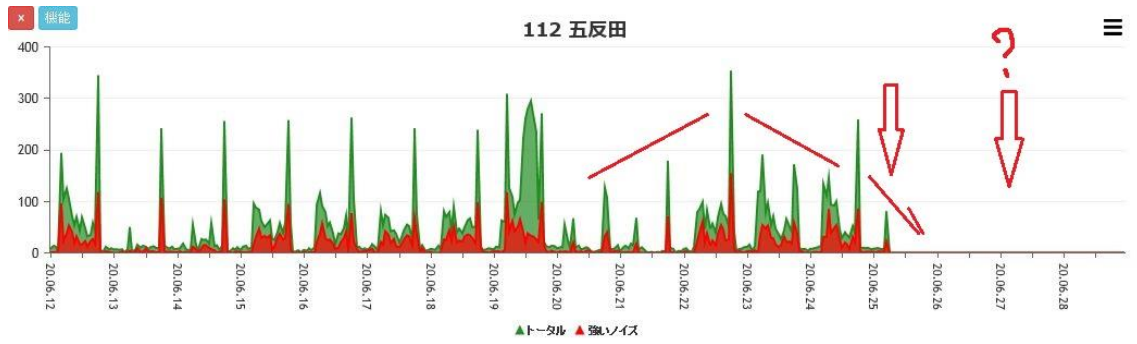
浜松北区 405 15日データ



地震発生 6月25日 千葉県東方沖 M6.2



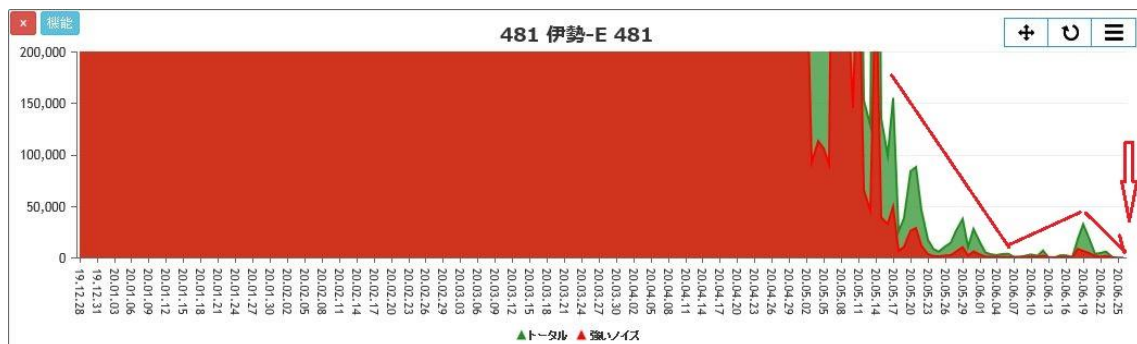
本日（6月25日）発生した千葉県東方沖 M6.2 の地震は五反田の長期のデータから見て規模が小さいようにも思え、これが前震であった可能性は残り、2～3日は注意が必要です。



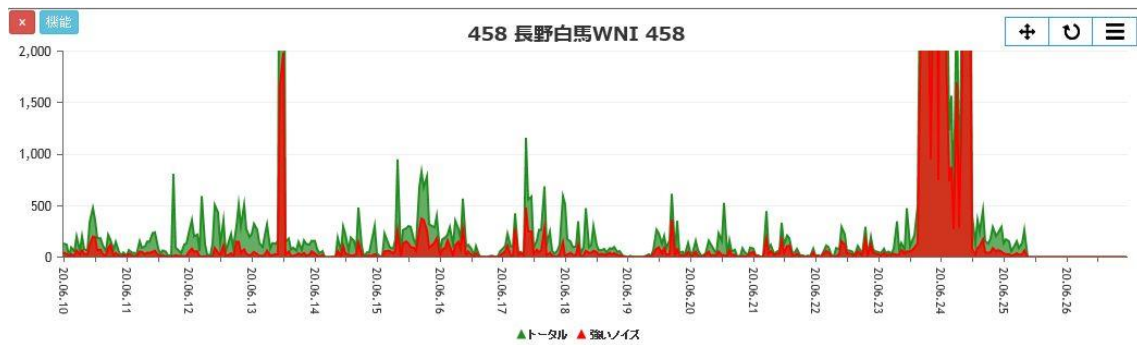
~~~~~

中部、東海地区について>今回千葉県東方沖 M6.2 が発生したことで 中部、東海地区には別に M6 クラスの地震の可能性があると考えられます。

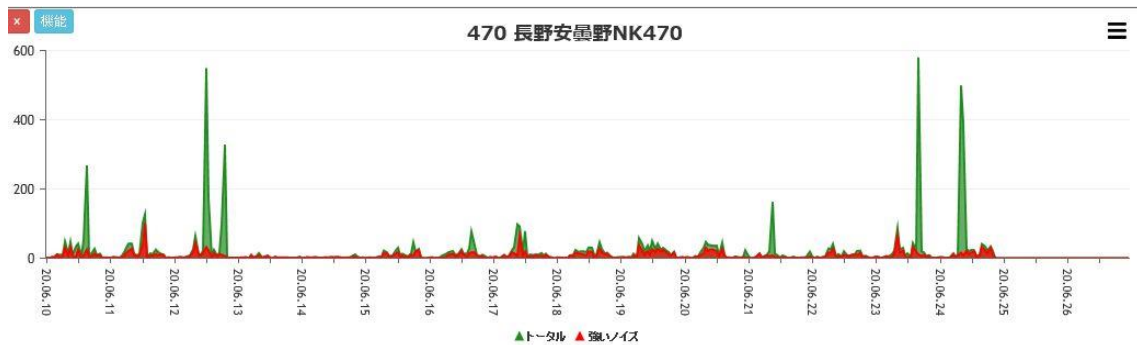
伊勢 E481 の 180 日 (日毎) データ



長野 白馬 15 日データ



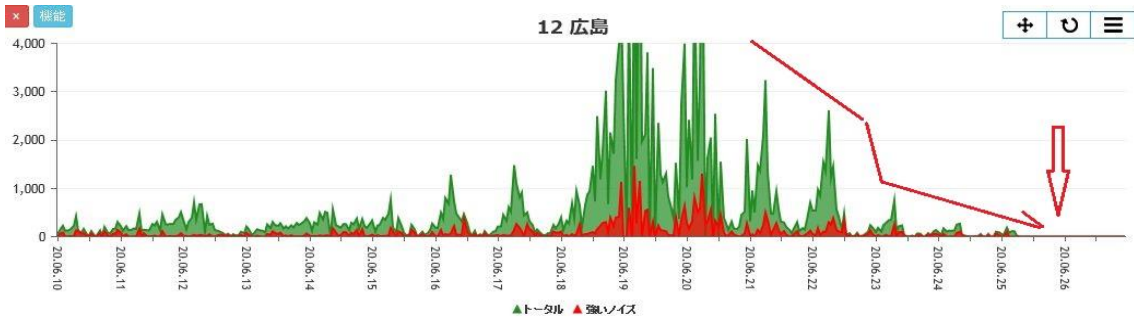
長野 安曇野 15 日データ



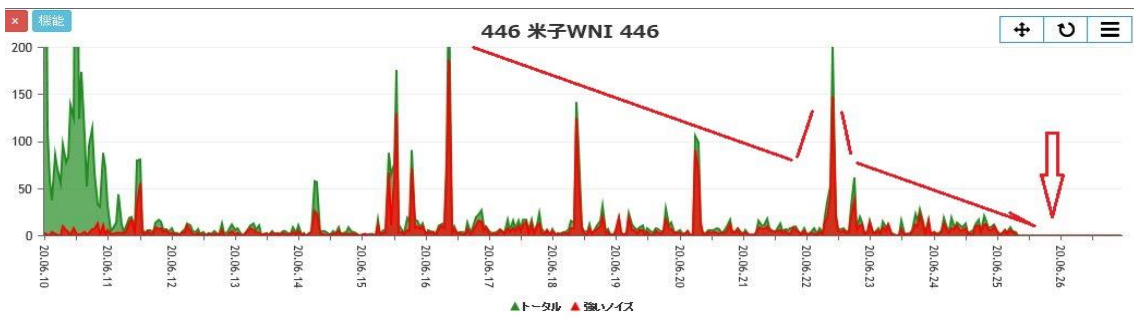
~~~~~

中国地方について>広島、米子、岡山真庭などが収束してきており、この後、M5~M6クラスの中規模の地震の可能性があると考えられます。

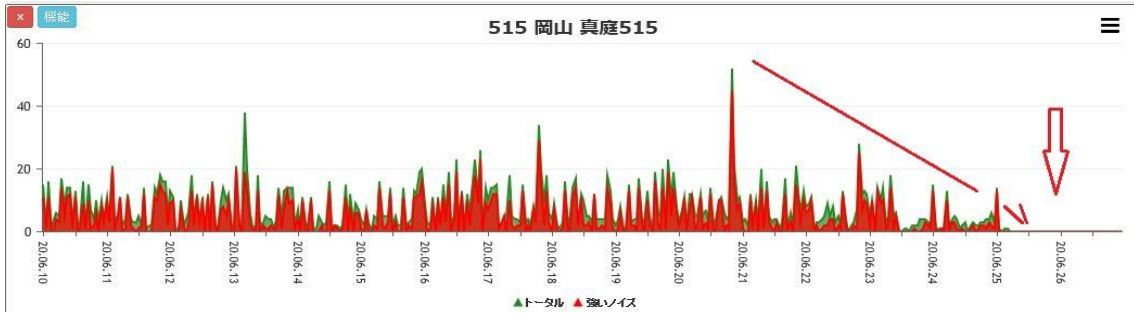
### 広島 15日データ



### 米子 15日データ



### 岡山真庭 15日データ



### 大阪 高槻 15日データ

